

## 人間動物関係学特論(一) (2単位)

担当者氏名 小川 博・安藤元一・秋篠宮 文仁

### ◆学習・教育目標

野生動物は人間にとって重要な資源であるだけでなく、人間と環境を共有する存在でもあり、様々な局面で人間との関わりが生じている。また、すべての家畜は、人間が野生動物を長い時間をかけて家畜化したことにより生じたものであり、野生動物の家畜化の動機や過程には人間の様々な文化的背景が密接に関係している。本科目では、人間と野生動物の共存の文化、野生動物の家畜化とは何か、野生動物の活用、人と野生動物の好ましくない関係等、人と動物の様々な関わりについて講義を展開する。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物	家畜化	家禽化	人の歴史
文化	生き物文化	獣害	野生動物管理

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	人間動物関係学とは	人間動物関係学で展開する内容の概要把握	生き物と人との様々な関係について、歴史的、文化的、農学（バイオセラピー学）的な視点から考え、認識を深める
2	生き物文化（1）	家禽の野生原種、家禽化とは何か	
3	生き物文化（2）	家禽化の文化的、生物学的背景	
4	生き物文化（3）	家禽以外の生き物と人との様々な関係	
5	家畜と人（1）	家畜の野生原種、家畜化とは何か	
6	家畜と人（2）	家畜と人との様々な関係、野生動物の家畜化	
7	資源としての野生動物（1）	動物資源としての野生動物	
8	資源としての野生動物（2）	家畜・家禽資源としての野生動物	
9	歴史における野生動物	日本の歴史に見る野生動物とのかかわりの変遷	
10	農林業と野生動物（1）	害獣としての野生動物	
11	農林業と野生動物（2）	狩猟と野生動物	
12	野生動物の非経済価値（1）	子どもと野生動物	
13	野生動物の非経済価値（2）	ツーリズムと野生動物	
14	野生動物の非経済価値（3）	動物福祉	
15	総括	動物と人との新たな関係とは	

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）  
 鶏と人 / 秋篠宮文仁 編著 / 小学館 （2000年）

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）  
 バイオセラピー学入門（講談社）

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポートにより評価する

◆その他受講上の注意事項

---